

標準化セミナー実施報告

2024年 2月 6日

九州支部

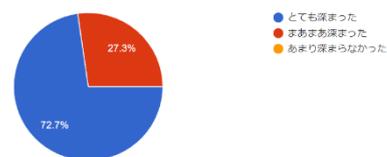
対象	Nacs 会員（九州支部）及び 消費者関連有資格者、一般市民			
開催日時	2024年2月3日（土）13:00～17:00			
開催場所・方法	鹿児島中央駅前 「勤労者交流センター」 7階第4会議室 対面方式			
参加者数	鹿児島分科会 3名 明知孝 有山まり子 石窪奈穂美 宮崎分科会 3名 山本祥子 海田朋子 内野圭子 福岡分科会 3名 林真実 棟居秀信 藤崎達也 会員外 5名 消費生活アドバイザー 柳井田浩子 徳納千鶴 自治体職員 明瑞恵 明ともき（小3）・明ともし（幼稚園年長） 合計 14名			
テーマ	標準化啓発セミナーとタネ探し（セミ深堀）・フィールドワーク			
配布資料	『標準化について考える』 添付参照			
プログラム	時間	内容	担当	備考
		司会進行	藤崎	
	13:10	開催挨拶	林支部長 藤崎	開催挨拶 本日の流れ、趣旨
	13:15	自己紹介	棟居副支部長	2名で自己紹介後、他己紹介
	13:40	標準化説明	明	「標準化について考える」
	14:10	各タネの説明と深堀、	藤崎	
		宮崎・鹿児島の分科会で事前にワークショップでタネ探しを実施した。 本日はその中から、宮崎2テーマ、鹿児島3テーマのタネについて、		
		<ul style="list-style-type: none"> ・ タネの内容を説明、 ・ 事前に調査した内容の説明 ・ それに対して参加者で討議 を実施した。		宮崎のワークショップでの主なタネ 1. エレベーターのボタン 2. キャッシュレスの共通化 3. 商品バーコード 消費者で使いたい 4. 自転車の安全装置、制限速度 5. 洗剤の詰替え表示について
		<ul style="list-style-type: none"> ①エレベーターのボタン ②洗剤のボトル詰め替え ③メイクアップ商品 ④新車のバックモニター ⑤ランドセルの防犯ブザー 		鹿児島のワークショップでの主なタネ 1. エレベーターのボタン 2. 食パンの重さ 3. メイクアップ商品 4. 海外の商品 5. 新車のバックモニター 6. ランドセルの防犯ブザー取付
	15:00	フィールドワーク	案内：明	■エレベーターのボタン ■ランドセルの仕様 ■洗剤の詰替え表示 ■化粧品のレフィル・ケースとヒアリング
	15:40	帰着		
	15:45	発表（アンケートの代わり）	進行：藤崎	今日のセミナーと討議・フィールドワークで感じたことを色画用紙に記入して頂き、それを持って発表する。
	16:25	閉会挨拶	棟居副支部長	
	16:30	終了		

アンケート結果
(参加者の感想
発表)

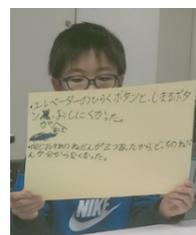
標準化セミナー&ワークショップに参加していかがでしたか
11件の回答



標準化への理解は深まりましたか
11件の回答



- タネの深堀には、仲間とのフィールドワークが有効だと感じた。
本日の研修で発見も多く、原点に戻れた！！これを発展させていこう。
- 暮らしの中の様々な機会でも、標準化について意識して考えてみるのが大切だとわかった。そして、情報（疑問に思ったこと等）を共有して、さらに必要性、重要性を多様な報告から考えていくことが大切と感じた。
- 普段“仕方ない”と自己完結していましたが、声に出すことで、生活や生きやすさを変えられることを知りました。自分の“？”を大事にしたいと思います。
- 初めて参加して、“標準化”という考え方がわかりました。生活する中で重要なことだとわかりました。今回の5項目ともいろいろ考えさせられました。普段何気なく生活していますが、いろんなことに気付けたらいいなと思います。
その中で、交通標識の『止まれ』について、日本とアメリカで違いがあるがその標準化について知りたいと感じました。
- 初めて『標準化セミナー』に参加して、規格の統一について、理解を深めました。皆様とも交流を深められてよかったです。今後消費者として、今日気づかされたことに興味を持って、何かの形で発信できたらと思います。
- エレベーターのひらくボタンと、閉まるボタンが高くて押しにくかった。同じ品物の値段が2つあったから、どちらの値段かわからなかった。
- エレベーターで実際に迷っている人がいた。ランドセルの肩ベルトのフックが1つのものと2つのものがあった。防犯ブザーはランドセルと一緒に購入できるとよい。衣料用洗剤の表記について気にしてなかったが、確かにわかりにくい。
- タネ探し、深堀、フィールドワークそれぞれで新しい発見がいっぱい。皆で活動すると、良い成果が出そう。
- 交流会が楽しかった。(他己紹介、お菓子、フィールドワーク) タネ探しは面白いけど、難しい。
- 普段あまり気にかけていないことを
皆さんと一緒に深堀することの“楽しさ☆”に気づきました。
- なかよし→考える→一歩前へ
- 科学の進歩で、標準化するタネが出てくると気づきました。



標準化のタネ

①エレベーターのボタン

・タネの説明

エレベーターでとっさの時に、どちらのボタンを押したらいいかわからなくなる時があり、わかるようにしてほしい。



・事前調査した内容の説明

いろんなパターンがあることがわかり、形も統一されていない。

・討議

*インターネットでも多く取り上げられており、みんなの関心事。

*閉じるボタンは必要ないのでは。

開くボタンだけ大きく、目立つようなボタンもある。

海外では閉じるボタンは使わない。

開くを1.5倍の大きさに行っているものもある。もっと大きくしてもいい。

*閉じるボタンを押すと電気を食うと聞いたので、省エネのために押さない。

*開閉ボタンの押し間違えに関する論文も出ているようだ。

*開くボタンは左側にあるので、とっさの時は左ボタンを押す。

*同じ色・大きさで分かりにくさ、判別しにくいことでシニアの押し間違えを誘引していることが目の当たりにできた。(フィールドワークでの発見)

②洗剤のボトル詰め替え

・タネの説明

洗剤の詰め替えボトルの表示が『通常の OO 倍』とか『詰め替え用の OO 倍』『選択回数 の OO 回分』等いろいろあり選定時に迷ってしまう。



・事前調査した内容の説明

いろんなパターンで多さの表示がされている。



・討議

*インターネットで見ると『アタック』だけでも6-7種類の容器や表示がされている。商品宣伝の戦略かもしれないが、消費者は迷う。

*字の大きさもまちまちで、比較基準になる ml や g など大切な表示が見つかりにくい。

*全自動用の、部屋干し用の、の違いが判らない。不必要に多い種類。買わせるためなのか？成長しない国だから、バリエーションを増やして買わせる。注意書きも小さすぎる。

*特大サイズ、7回分とは？「通常のサイズ」の絵が描いてあったのはわかりやすかった。(フィールドワークでの発見)

*全自動洗濯機の自動投入だと、洗剤の濃さで設定を変更しないとイケないが、濃さの表示が、水の量だったり、洗濯物の重量だったりして、計算が困難。

③メイクアップ商品

・タネの説明

化粧品が容器が使い切らないうちに、捨てなくてはいけない。容器を小さくしてほしい。

・討議

*レフィルのケースが変わるので、次に購入時にはすべて新品にしなくてはいけない。→(フィールドワークで変えないことにしているメーカーもあることが分かった)

*数色入りのパッケージで、使わない色が残ってしまう。選べるようにならないのか。→(フィールドワークで選べるメーカーもあった)

*男性化粧品は50年前のものがまだ売り場にあった。(フィールドワーク)

→商品について困ったことがあったらメーカーのお客様窓口に感じたことを連絡しましょう。皆がすることによって、声が多ければ変わるかもしれない。

④新車のバックモニター

・タネの説明

自治体では標準装備の車しか買えないが、高齢者の職員が多くなり、バックモニターがないことによる、事故が多発している。新車には、バックモニターを標準装備できないか。

・討議

*近い将来は、自動運転車が出てくると思われるので、バックモニターは標準装備になるのではないか。

⑤ランドセルの防犯ブザー取付位置

・タネの説明

小学校に入学すると防犯ブザーを持たせることがある。取付位置の説明を受けていない。ブザーを押せないところに付けている。



・討議

*ランドセルの肩ベルトに取付金具がありそこに取り付けるのでは。

*ランドセルの肩ベルトに取付金具が両方あるものと片方しかないものがあった。右利き左利き用か?→(フィールドワークで発見)

*防犯ブザーにGPSを付けてはどうか。→あるらしい。

宮崎高鍋のようにスマートシティになっていると、WiFiで位置がわかるようになる。GPSより安い。

*ランドセル売り場で、防犯ブザーは置いていなかった。ペアで置くといいのでないか。(フィールドワークで発見)

標準化の基礎のお さらい 後半の深堀討議へ 繋げる	30分	『標準化について考える』 	明さん PPTを使って説明	PPT 印刷資料
標準化のタネの説明と 検討内容の説明、 皆で深堀の討議 さらに深堀が必要 かを探る。	60分	5項目を実施 ①エレベーターのボタン（宮崎） ②洗剤のボトル詰め替え（宮崎） ③メイクアップ商品（鹿児島） ④新車のバックモニター（鹿児島） ⑤ランドセルの防犯ブザー取付位置 （鹿児島）	山本さん 内田さん 明さん 明さん 明さん	PPT
皆で現場に行って 今回の検討内容に ついて、どうなっ ているかを確認。	40分	フィールドワーク 近くのスーパーで、商品がどうなっ ているかを、みんなで確認しました ①エレベーターのボタン ②洗剤のボトル詰め替え ③メイクアップ商品 ⑤ランドセルの防犯ブザー取付位置		
今回のセミナーで 各自が何を感じた かを、コメントと して記載し、発表 してもらおう。（ア ンケートの代わり として）	30分	色画用紙に今日感じたことを記載し て頂き、 それを持って発表してもらった。		色画用紙 プロッキー
	5分	閉会の挨拶	棟居副支部長	

【アンケート集計】

回答数： 11枚

男：3名 女：8名	所属 nacs:8名 消費生活アドバイザー他：3名
会員：8名・非会員：3名	年代 30代1名、40代1名、50代1名、60代7名、70代1名

問1 本日のセミナーに参加していかがでしたか？

- | | |
|-------------|----|
| 1. とても良かった | 11 |
| 2. まあまあ良かった | 0 |
| 3. 良くなかった | 0 |

問2 標準化について理解は深まりましたか？

- 1. とても深まった 8
- 2. まあまあ深まった 3
- 3. あまり深まらなかった 0

問3 本日のセミナーについてご感想・お気づきの点を自由にお書きください。

- 技術が進歩すると新たな標準が必要になることを、感じる事ができた。
- 自己紹介や感想の発表、他の進行も固くなりがちなど楽しく柔らかく進めて頂きとても良い研修でした。
参加者が楽しめる意見もたくさん出て、成果が上がるものだと思います。
- 企画、準備、ありがとうございました。発言しやすい参加人数のおかげで充実した話し合いができたと思います。またお会いできるのを楽しみにしています。
- 自由な発言ができるワークショップを創成できた。
- 日頃、思っていたことが、標準化という考え方になるんだということを知りました！ とても勉強になりました！
- すべてが、標準化がいいということではないと思いますが、いろいろ考えさせられました！ フィールドワークもあり、いろいろなマークや表示の見方が変わりました！ 参加してよかったです！ ありがとうございます！
- 標準化セミナーとタネ探しは何度もやってきて、これまではそこから発展することがなかったが、今回初試行のフィールドワークで殻を少し破ることができたと思う。
- いつもと違う視点で消費生活について考える機会を頂き感謝です。
- 久しぶりにリアルな活動ができて、会の中で交流もできて充実していました。
- 標準化に興味があり家族で参加させていただきました。標準化について、消費者の視点や声を上げていくことの重要性を認識できました。

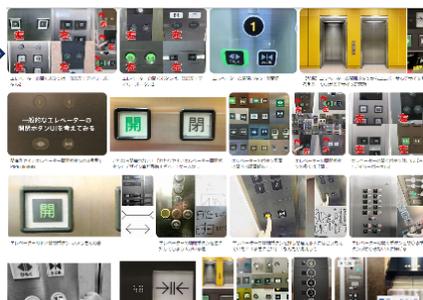
【セミナーによる成果物】

グループ発表の資料や発言内容の記録、写真など

①エレベーターのボタン（宮崎）（山本さん）

エレベーターの開閉ボタン

NACS九州支部 宮崎分科会
山本祥子





221-4

押し間違いを減らすエレベータ開閉ボタンのデザイン
 ①はく押さなくても押し間違いを減らす開閉ボタン
 ②はく押さなくても押し間違いを減らす開閉ボタン
 ③はく押さなくても押し間違いを減らす開閉ボタン
 ④はく押さなくても押し間違いを減らす開閉ボタン

2. 検討内容と検討方法

2-1. 開閉ボタンのデザインの因子と水準

表1に、本研究で評価に用いたデザインの因子・水準を示す。また、表1の因子・水準を組み合わせて実際に用いたデザインを表2に示す。

2-2. 視触・動作の違いの評価方法

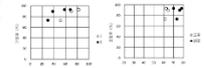
本報では、正常に触れた場合と誤答に触れた場合の、視触および動作の違いに着目し、ヒューマンエラーのメカニズムを検討する。視触に着目した評価では、エレベータ開閉ボタンが表示されてから開閉しづれぬボタンに触れるまでに正答を見ていた時間の割合で、インポート側の開閉の判別のしやすさを評価する。動作に着目した評価では、手が動き出すまでの時間およびボタンに触れるまでの時間を指標とし、アウトプット側のヒューマンエラーの発生確率を評価する。

表1 評価に用いたデザインの因子・水準

因子	水準		名称
	開	閉	
イラスト	△	△	三角
	開	閉	開閉
	口	口	口
	目	目	目
色	灰	灰	灰
	緑	灰	緑
サイズ (止率)	1	1	1
	1.5	1	1.5

表2 評価に用いたデザイン

要素	開	閉
従来デザイン	△	△
全体最適化 (イラスト: 口/目) (色: 緑/灰) (サイズ: 1.5/1)	口	口
部分最適化 (色: 緑/灰) (サイズ: 1.5/1)	△	△
	開	閉



4. まとめ
 本研究では、エレベータ開閉ボタンの視触評価
 (開閉と動作の違い)に着目し、押し間違いの発生
 原因の抽出に努めた。以下に結果を報告する。
 1) 視触評価の結果、押し間違いの発生率を低減
 するための効果的なデザインは、開閉ボタンに
 正誤の判別が容易な視覚的要素を付与すること
 であることがわかった。
 2) 動作評価の結果、押し間違いの発生率を低減
 するための効果的なデザインは、開閉ボタンに
 正誤の判別が容易な視覚的要素を付与すること
 であることがわかった。
 以上より、視触および動作の両面から評価
 した結果、視覚的要素を付与したデザインは、ヒュー
 マンエラーの発生率を低減する効果がある。

②洗剤のボトル詰め替え (宮崎) (内野さん)

詰替用液体の容量表記

NACS九州支部 宮崎分科会
 内野圭子



「通常」の〇〇倍



「つめかえ用の」〇〇倍



「つめかえ用の」〇〇倍



「洗剤たくさん使う」〇〇倍



kg表示 と kg表示



③本日感じたことの発表の様子



標準化事業in鹿児島のご案内

標準化事業実行委員会
鹿児島・宮崎分科会標準化リーダー

【標準化事業を鹿児島で開催します！標準化ってなに？という方も、もっと深堀したい！という方も、一緒に交流しましょう】

- 日時 2024年2月3日（土）13:00～17:00予定（詳細は調整中）
- 場所 鹿児島中央駅前「勤労者交流センター」7階第4会議室と市中
- 参加費 無料（終了後の懇親会は実費）
- 内容 前半・オリエンテーションと参加者自己紹介
 - ・標準化って何？のミニセミナーと質疑応答
 - ・タネ探しワークショップ グループワーク後半・標準化タネ探しフィールドワーク（まちあるき）
※終了後、有志で気づきを共有しながら懇親会
- 参加資格 ・NACS会員及び消費者関連有資格者など
- 締切 2024年1月20日（土）※定員15名 先着順
- 申込先 右記Googleフォームからお申込ください。



【講義資料】標準化セミナー講義レジュメ

2024.2.3
標準化セミナー in かんま

経済産業省委託事業

標準化について考える

公益社団法人
日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
九州支部

NACS
(ナックス)
Nippon Association of Consumer Specialists
公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会

設立 1988年6月（通商産業省認可）
目的 消費者利益と企業活動の調和を図り、社会に貢献する
特徴 消費生活に関するわが国最大の専門家団体
会員 消費生活に関する3つの資格の保有者
消費生活アドバイザー（内閣総理大臣・経済産業大臣事業認定資格）
消費生活コンサルタント（日本消費者協会認定資格）
消費生活相談員（国家資格）
※本部及び全国の7支部で活動を展開

標準化について考える
目次 ▶
■Session1 もしも標準化がなかったら
■Session2 標準化のためにできること
意見交換とフィールドワーク
振り返り（総括）

Session 1
もしも
標準化がなかったら

トイレトペーパー 迷走編

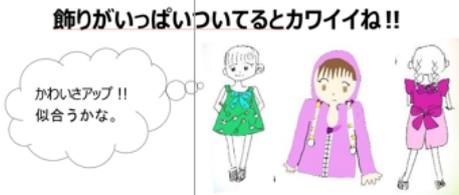
トイレトペーパーがなくなったら
買わなきゃね

ええーと
いろいろあるけど
うちのにはどれが合うの
かしら??

トイレtpーパー 迷走編

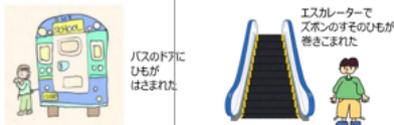


子ども服 危険編



子ども服 危険編

さらに こんな危険もある。。



でも

実際には こんなことありませんよね !!



子ども服 危険編

だけど、実はこんな危険がある。。



「トイレtpーパー」と「子ども服」



解決編 です

トイレtpーパー 解決編

JIS P 4501
トイレtpーパー
→形状や寸法を規定



これで OK!



問題・課題



解決手段



国が定める企画=国家規格

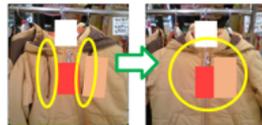


国際標準化機関が定める規格 =国際規格

子ども服 解決編

安全でかわいい服を 選ぶ機会の創出

JIS L 4129 子ども用衣料の安全性
→ひもの長さ等を規定



JIS規格を参考に 良い買い物ができるね!



メーカーが デザイン変更を行い 首周りのひもを無くした例です

標準化とは

バラバラでは困る状態を一定の「取り決め」に従って 統一化していく活動のこと



(規格名称)
子ども用衣料の安全性
- 子ども用衣料に附属するひもの要求事項

JISは全部で 10, 944規格 (2022年度未現在)

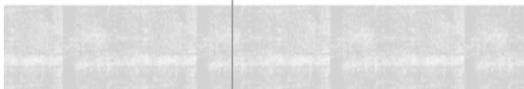


標準化のおかげで
わたしたちは
豊かに 便利に 安全に
生活できるんですね！



Session 2

標準化“のために
できること



最後に JISやISOなど“標準化”を
新たに形成するために 私たちができることを
一緒に考えましょう！



わたしも
できる？

安心な日々

そして持続可能な未来を実現するためには
消費者が標準化にかかわることが大切です



みんなで考えてみた 「標準化のタネ」
身の周りの「不便なこと」「危険なこと」「こうなってほしいこと」



標準化6つの視点

互換性・品質の確保 形や寸法が統一され、どこでも、誰でも利用できる	情報・知識の共有 誰でも一目で特定のものとして認識できる	安心・安全の確保 形や寸法の統一、一定の強度の確保により、安心かつ安全に利用可能
高齢者・障害者への配慮 ものに触れるだけで利用できる 日常生活での障害を軽減	環境保護 環境にやさしい 再生可能エネルギー 様々な環境配慮 製品マーク	利便性向上 生活をより豊かにするもの

標準化に対するイメージが
できましたか？



「消費者ならでは」の視点で標準化提案も可能です



実際に
どうい規格が
あるの？

みなさんの身の回りに
「不便なこと」「危険なこと」「こうなってほしいこと」
ありませんか？



標準化は消費者にとって身近なものです

皆さんが標準化に興味を持ち 知識を深めることで

もっと身近なものになっていきます



資料3：集合写真と活動風景写真

